

平成27年第2回（6月）上越市議会定例会

建設企業常任委員会資料【所管事務調査】

高田公園基本計画の改訂について 1～5

高田公園基本計画の改訂について

1 改訂の目的

現在の高田公園基本計画は、開園から約 50 年を経た平成 12 年度において、老朽化の進行等をとらえる中で、将来に向けた長期的な整備の考え方や方向性をまとめたものであります。

現計画は、策定時において高田公園の課題や整備の方向性などについて十分な検討がなされており、現在においても、今後のあり方の検討など実務を進める上での指針として位置づけられています。しかしながら、実際の整備を進める観点から見ると、現計画は長期的な視点に立った構想としての要素が強く、老朽化が進む公園施設の計画的な更新など、直面する課題への対応策に乏しいことから、現状を踏まえた当面の方向性について整理が必要となっています。

こうしたことから、このたび計画全般にわたり検証作業を進め、基本計画については、現計画の整備の方向性を継承しつつ必要な加除、修正を加え、今後の高田公園の整備を進める上での指針として活用できるよう改訂するとともに、現状を踏まえた実効性のある短期整備計画を別途策定するものであります。

2 改訂のポイント

① 整備イメージ図の削除、基本方針の明確化

総合公園としての現状の位置付けは変更することなく、また公園の機能を 3 点に整理し、整備を行う考え方を基本方針として改めて明記します。あわせて、現計画に揚げる実現困難な項目や長期的なイメージ図などを現状に即して整理します。

大 方 針	基本的な考え方
交流拠点 …市民が「憩い」「交流」する公園	総合的な利用に供することを目的に、市民の憩いの場、交流の場として公園機能の強化を図る。
歴史拠点 …「歴史」を感じる公園	歴史的経過を経て生まれた現状を十分考慮した整備を行う。
観光拠点 …「桜」と「ハス」が咲き誇る公園	市街地に身近な水と緑のオアシスである公園環境の保護保全を行い、桜とハスの名所として更なる充実を図る。

② 整備方針など基本的な方向性の継承

現在の基本計画で示している高田公園の課題、また整備に当たっての視点や方針などの基本的な考え方を継承するとともに、整備の現状を踏まえ、必要な加除、修正を行います。

③ ゾーニング

公園区域が広大であることを考慮し、あわせてこれまでの整備の経緯と現状を踏まえる中で、区域内を概ね 4 つのゾーンに区分し、それぞれの整備イメージを定めます。

④ 短期整備計画の策定

基本計画に定める方向性の実現に向けて、本計画の上位計画となる上越市第 6 次総合計画及び上越市都市計画マスタープラン並びに上越市第 2 次財政計画と整合する実現性の高い短期整備計画を別途策定することとします。

3 短期整備計画について

① 短期整備方針

上位計画となる上越市第6次総合計画及び上越市都市計画マスタープランに掲げる課題や基本的な施策の方向性を踏まえるとともに、公園整備の整備方針を定めます。あわせて、第2次上越市財政計画との整合を図り、実現性の高い計画内容とします。

上越市第6次総合計画の方向性と整備の現状	短期的な整備方針（3つの方針）
(施策の柱) ・市民の安らぎや交流の場の形成 ・施設機能の充実 (現 状) ・平成27年度から(仮称)厚生産業会館の 本体工事に着手	(仮称)厚生産業会館の建設にあわせ、市民の憩いの場、交流の場としての公園機能の更なる充実を図る。
(施策の柱) ・桜の保護や育成 ・緑化に関する市民の意識啓発と取組支援 (現 状) ・平成26年度から「桜の長寿命化」に着手	桜の樹木の計画的な更新と健全な生育を図る「桜の長寿命化」に取り組むとともに、桜の保全活動などを通じて、高田公園に対する市民の愛着や親しみをさらに高めていく取り組みを行う。
(施策の柱) ・バリアフリーや安全面に配慮した公園整備 (現 状) ・公園施設の老朽化が進んでいる。	安全安心の観点から老朽化した公園施設の計画的な更新を行う。

② 短期整備計画

短期整備方針をもとに、市民の憩いの場、交流の場としての施設機能の充実や桜の保全、老朽化が進んだ公園施設の更新などを中心にした計画内容とします。

③ 計画期間

上位計画の計画期間と同一の平成27年度から平成34年度までの8年間とします。

【参考資料】

- ・ゾーニング図
- ・短期的整備に向けた課題
- ・短期整備計画（平成27～34年度）